

# 2009年林業経済学会秋季大会のご案内

2009年秋季大会運営委員会 委員長 黒瀧秀久

2009年林業経済学会秋季大会は、9月25日（金）、26日（土）、27日（日）の3日間、東京農業大学オホーツクキャンパスにおいて開催されます。

## 日程・スケジュール

- 2009年9月24日（木） 編集委員会 14:00～15:00（1号館2階 応接室）  
理 事 会 15:00～18:00（1号館2階 第一会議室）  
評 議 員 会 18:00～20:00（1号館2階 第一会議室）
- 2009年9月25日（金） エクスカーション  
Aコース（木材産業ルート、丸玉産業(株)等） 8:30～18:00  
Bコース（知床ルート、知床国有林のツリーイング等） 7:30～18:00
- 2009年9月26日（土） 自由論題報告 8:30～18:00（8号館302号室）  
テーマ別セッション① 8:30～18:00（8号館301号室）  
表彰委員会 12:00～13:00（5号館3階 演習室1）  
懇 親 会 19:00～21:00（網走セントラルホテル）
- 2009年9月27日（日） 自由論題報告 8:30～13:10（8号館302号室）  
テーマ別セッション② 9:40～12:45（8号館301号室）

※休憩室は、8号館201号室をご利用ください。※26日の昼食は第一食堂をご利用ください。

## 会場への交通

○バス利用（網走バスターミナル5番のりば「東京農大行き」）

- ・網走バスターミナル5番のりば  
乗車—「東京農大行き」  
下車—「東京農大」 約25分
- ・網走駅3番のりば  
乗車—「東京農大行き」  
下車—「東京農大」 約30分

※26, 27日はスクールバスでの送迎を行います（直行便）。

網走セントラルホテル7:50発→東京農大8:05着（26, 27日）

東京農大18:20発→網走セントラルホテル18:35着（26日）

東京農大13:20発→網走セントラルホテル13:35着（27日）

ただし、人数が多い場合は、往復するため多少遅れる場合がありますので、搭乗の際はご注意ください。

○タクシー利用

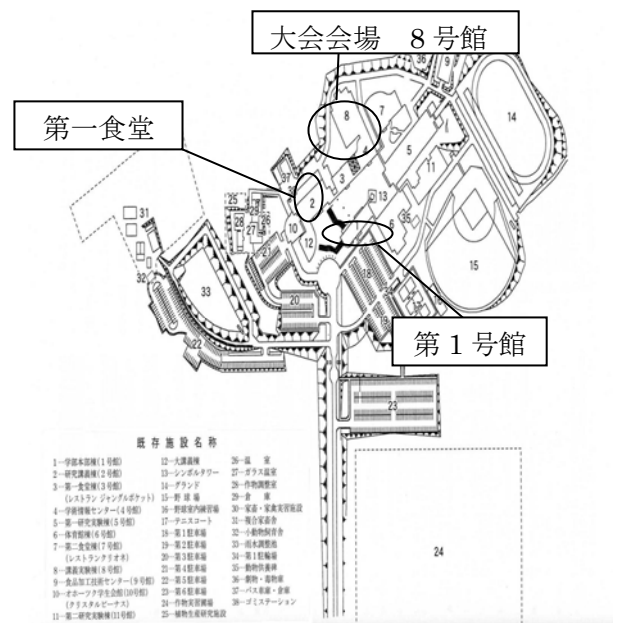
網走駅から約10km 約15分

バスご利用の方は、網走バス株式会社のホームページをご参照ください

(<http://www13.ocn.ne.jp/~abashiri/>)。

また、キャンパスのアクセスは東京農大ホームページを参照ください

([http://www.nodai.ac.jp/access/map\\_o.html](http://www.nodai.ac.jp/access/map_o.html))。



## 大会参加予定者の方へ

- 1) 大会参加費は、一般会員 1,500 円、学生会員 1,000 円です。
- 2) 発表要旨を必要に応じて学会ウェブ・サイトからダウンロードしてご利用ください。
- 3) 自由論題報告、テーマ別セッションに先立ち、25 日（金）にバスによるエクスカージョンを実施します。

・ A コース（木材産業コース） 参加費 一般 3,000 円、学生 2,500 円

### Aコース(木材産業ルート)

東京農業大学 (網走市)	→	網走セントラルホテル (網走市)	→	網走駅前 (網走市)	→	女満別空港 (女満別町)	→	美幌町森林組合 (美幌町)
8:30発		8:50発		9:00発		9:30着 10:00発		10:20着 11:30発 *工場見学(30分) *森林組合の取り組み 説明、質疑応答(20分)
津別単板協同組合 丸玉産業(株) (津別町)	→	協同組合 オホーツクウッドピ ア(北見)	→	網走セントラルホテル (網走市)				
12:30着 13:50発		15:20着 16:10発		18:00着				
*工場見学(50分)第2ライン、 バイオマス施設 *概要説明、質疑応答(30分)		*工場見学(30分) *概要説明、質疑応 答(20分)						
昼食はバスの中で弁当を配布。								

・ B コース（知床コース） 参加費 一般 10,000 円、学生 7,000 円

### Bコース(知床ルート)

網走市街 迎え	→	ウトロ市街道の駅「道の 駅うとろ・シリエトク」集合	→	知床五湖	→	昼食	→	知床周辺の国有林見学 とツリーイング
7:30～		9:30～		10:00～		12:00～		13:00～
網走市に向け出 発	→	網走市街						
16:00～		～18:00						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食は事務局で用意する。</li> <li>・知床五湖では、ヒグマの出没による歩道閉鎖の回避、夏季の混雑解消、歩道周辺の植生回復を目的としてガイド同伴のみの利用を認める認定ガイド制の導入についてその導入過程の問題点などを学ぶ。</li> <li>・知床周辺の国有林を見学するとともに、知床自然学校が遊々の森を活用して行っているツリーイングを体験する。</li> </ul>								

4) 懇親会は 26 日（土）に開催します。会費 一般 4,000 円、学生 2,500 円

## テーマ別セッション①「変貌する地域林業構造の諸問題」

コーディネーター 黒瀧 秀久（東京農大）  
サブコーディネーター 古川 泰（高知大）

### 趣旨

21 世紀に入って日本林業構造も大きな転換期を迎えつつある。なかでも、長期林業大不況基調を示していた国内林業も 2005 年以降、一方での外材輸入環境の不安定化、減少基調と他方での国内木材資源の“成熟化”基調のもと、国産材“回帰”現象が北海道や九州地方で広がり、伐採後再造林放棄問題や資源の長期見通しに対する不安定状況も出始めている。

こうした現象とはアンビバレントに地域森林環境税の採択も多くの自治体で広がり、森林認証制度も北海道で急速な広がりを見せている。また、国有林も大きな転換点に逢着しており、こうした変貌する地域林業構造の実態を取り上げ、今後におけるわが国林業の再生産構造の諸問題を論議し、展望に繋げたい。

## テーマ別セッション②「自然保護地域における地域振興—人口減時代に向けて」

コーディネーター

柴崎茂光（岩手大学）

### 趣旨

自然保護地域では、ともすると環境の保全ばかりに注目が集まり、地域社会や地域経済の持続性は副次的な扱いをされがちである。しかしながら、人口減の時代においては、地域経済に貢献する観光客も、また保護を担う地域のマンパワーも減少することが考えられる。2009年秋季大会では、世界自然遺産にも登録されている知床が間近に位置しているが、そこでも観光客数の減少は大きな問題となりつつある。セッションでは人口減時代の自然保護地域において、どうやって地域を活性化させるのかを展望したい。